Category_B1操作卓で操作できる機器

■ 教材提示装置

■ 備付けパソコン
インターネット等を閲覧する事ができます。
※モバイルアカウントが必要になります。

■ DV/S-VHSビデオ

■ DVD

■ ケーブルテレビ

■ 持込機器
パソコン・デジタルカメラなど

■ MD（再生・録音）

■ スライドビデオ

■ 世界対応VHSビデオ

※ 教室によって、世界対応ＶＨＳビデオが有る教室と無い教室、
スライドビデオが有る教室と無い教室があります

世界対応ＶＨＳビデオ　有り、スライドビデオ　無し

７Ｆ：商学研究所

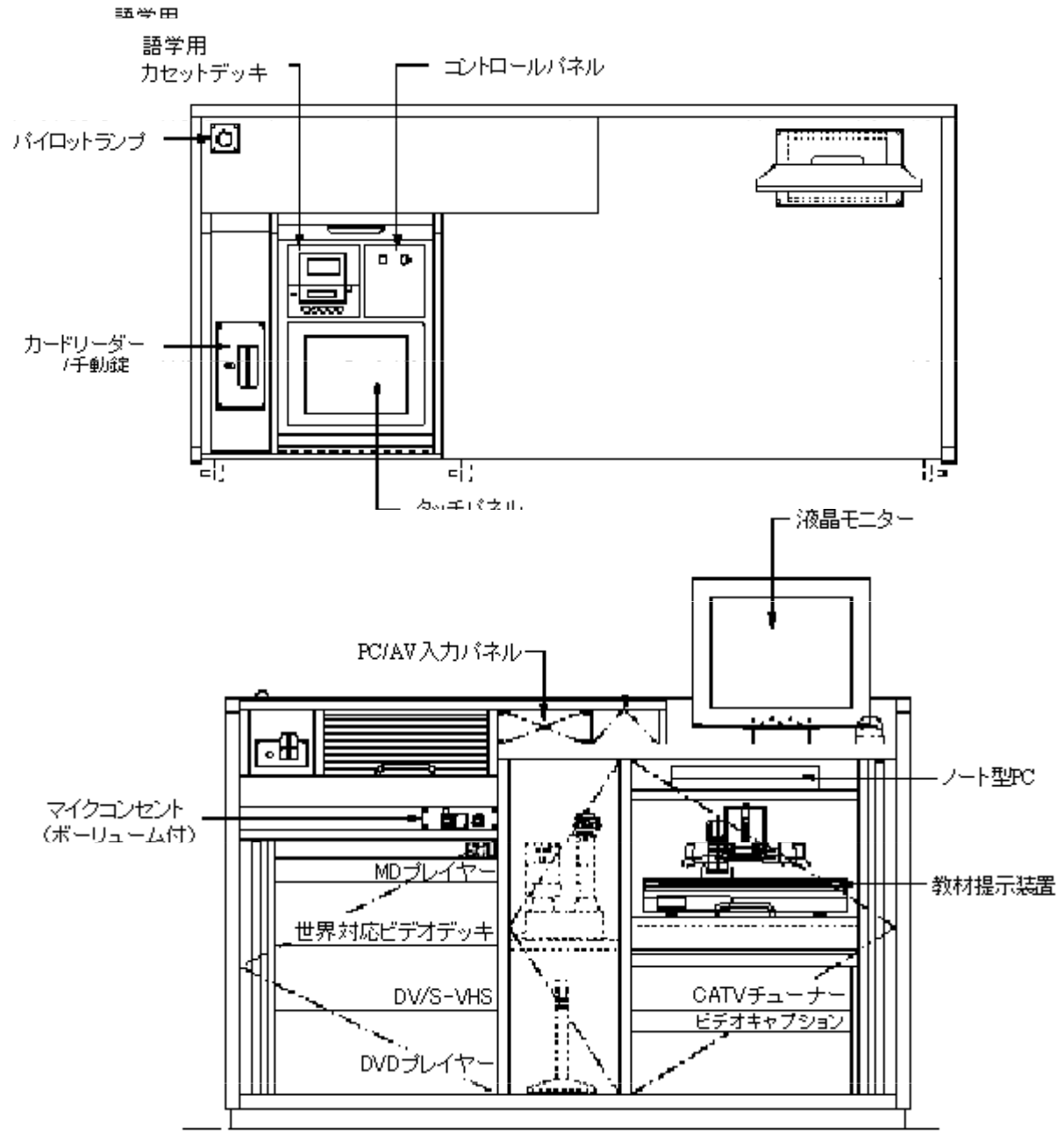
９Ｆ：309Ｇ

世界対応ＶＨＳビデオ　無し、スライドビデオ　有り

１１Ｆ：311Ｆ、311Ｇ

操作卓の説明-1

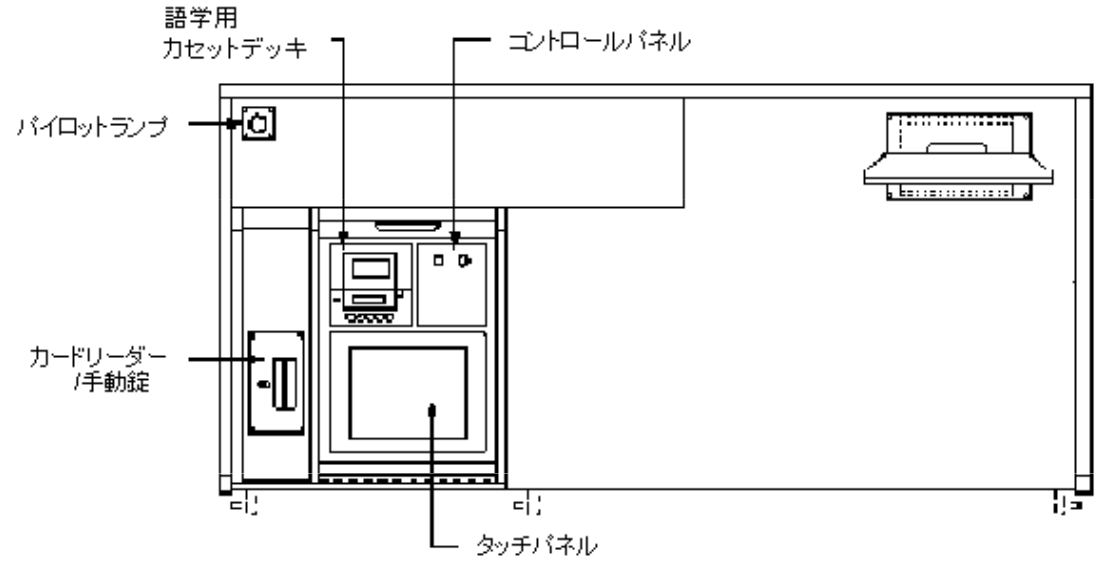
１１階　３１１Ｂ、３１１Ｅ
１０階　特別演習室
９階　３０９Ｃ、３０９Ｆ、３０９Ｇ
７階　商学研究所
地下１階　博物館教室

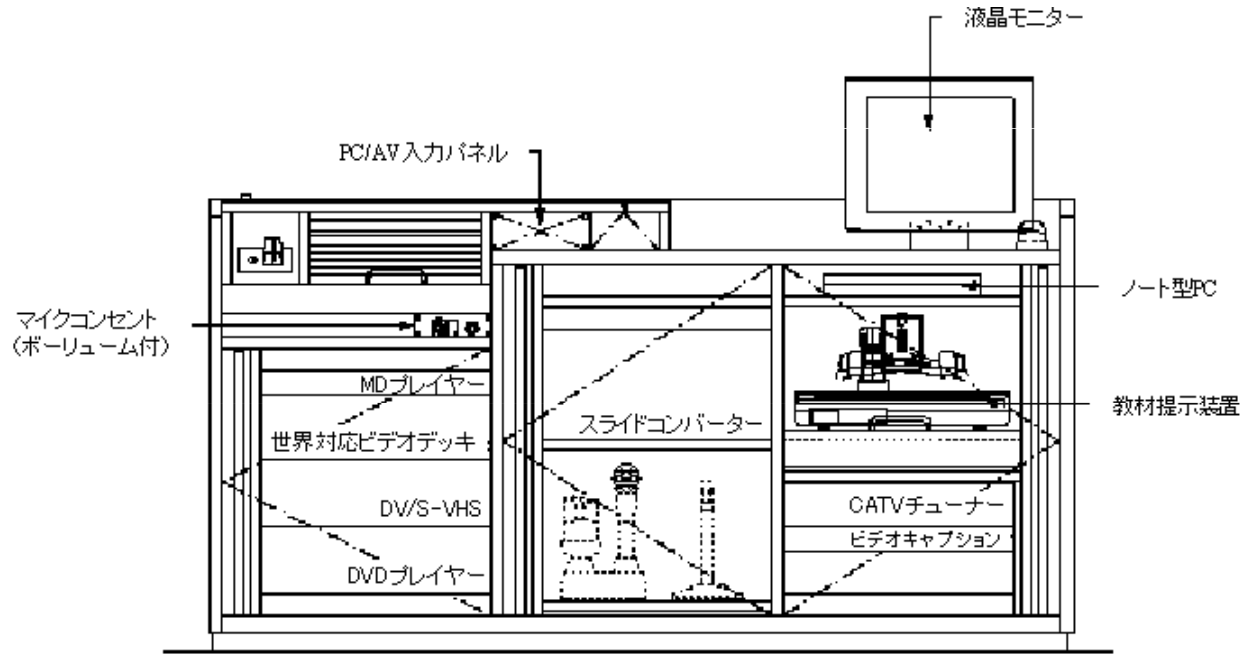


注１：全世界対応ビデオデッキは、
〔９階　３０９Ｃ〕と〔１１階　３１１Ｂ〕と〔１１階　３１１Ｅ〕
の３部屋には導入されていません。

操作卓の説明-2

11階　311F、311G

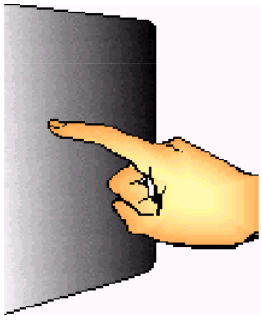




注1：全世界対応ビデオデッキは、
　　カテゴリーBの、このタイプの卓（横幅1.8m）には導入されていません。

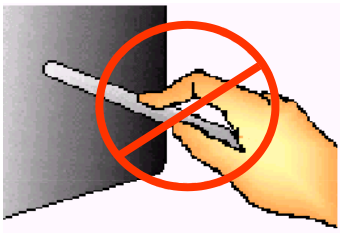
タッチパネルの操作概要

■ タッチパネルの操作概要タッチパネルの基本操作



タッチパネルモニターの正面に座り、画面上を指の先で軽く触れて下さい。
斜めや、裏側よりタッチすると視差により正しい位置に触れることができませんので注意して下さい。

※ 指の腹で軽く画面に触れる。
他の指が画面に触れないように注意して下さい。



先のとがった物(ペン等)は、タッチパネル面を傷付けますので、**先のとがった物でタッチパネルに触れないで下さい**。

システムの起動

■システムを起動する

操作卓で、システムを起動する事ができます。

【 起動 】

操作卓の開錠をします。

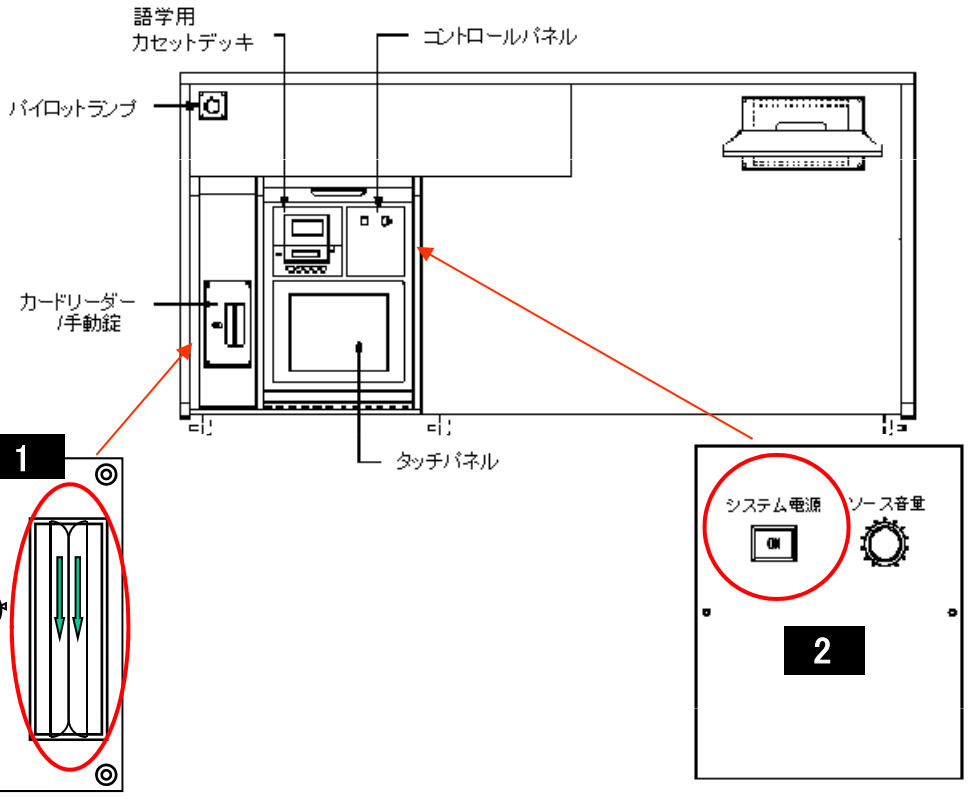
1 ＞カードリーダーに「教職員カード」又は「プレゼンテーション機器操作卓用カード」を通してください。磁気記録面を左側にして、上から下へ通します。

＞自動的に開錠され、操作卓上部のパイロットランプが点灯します。

2 システム電源スイッチを押します。

＞ラック化粧ケースの扉を開け、コントロールパネルの「システム電源：ON」を押してください。

■各機器の電源が投入されます。
タッチパネルにメインメニューが表示されましたら、起動完了です。

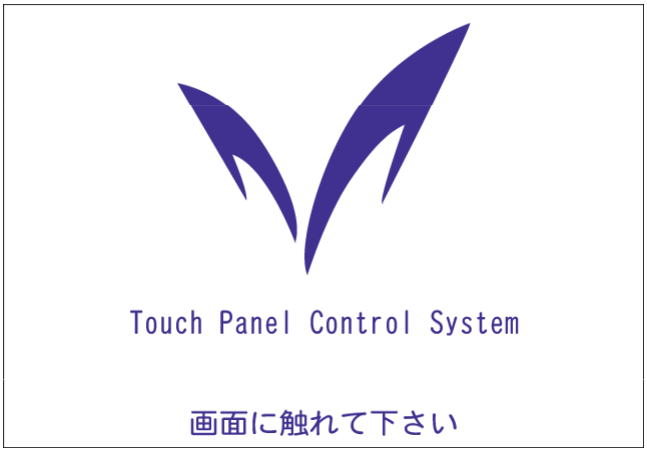


＜カードリーダー＞

＜コントロールパネル＞

機器収納架にあるカードリーダーにカードを通して下さい。

カードの読み取りが成功すると、システム電源スイッチをON出来ます。



しばらくするとタッチパネルの画面が起動し、タイトルが表示されます。

タイトルをタッチするとメインメニュー画面が表示されます。

↓

■ メインメニューの概要

この画面を“メインメニュー”と呼びます。

各操作パネルの呼び出しは、

この画面で行います。

※ 教室によって、世界対応VHSビデオが有る教室と無い教室、

スライドビデオが有る教室と無い教室があります

世界対応VHSビデオ、スライドビデオが有る場合と無い場合ではメインメニューが弱冠、違います。

<u>世界対応VHSビデオ　有り、スライドビデオ　無し</u>

7F：商学研究所

9F：309G

<u>世界対応VHSビデオ　無し、スライドビデオ　有り</u>

11F：311F、311G

世界対応VHSビデオ　有り

スライドビデオ　無し

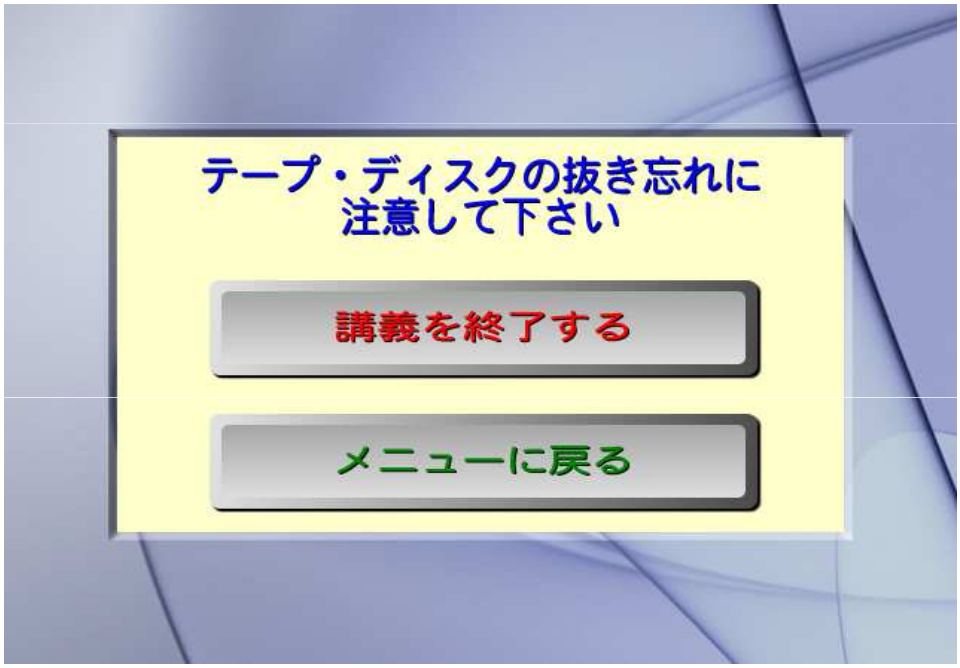
世界対応VHSビデオ　無し

スライドビデオ　有り

システムの終了

メインメニューの“講義終了”をタッチ して下さい。

システム終了画面に移ります。



●“講義を終了する” で終了動作に入ります。

（終了する前に必要であれば、DVD、ビデオ等のソフトを取り出してください。）

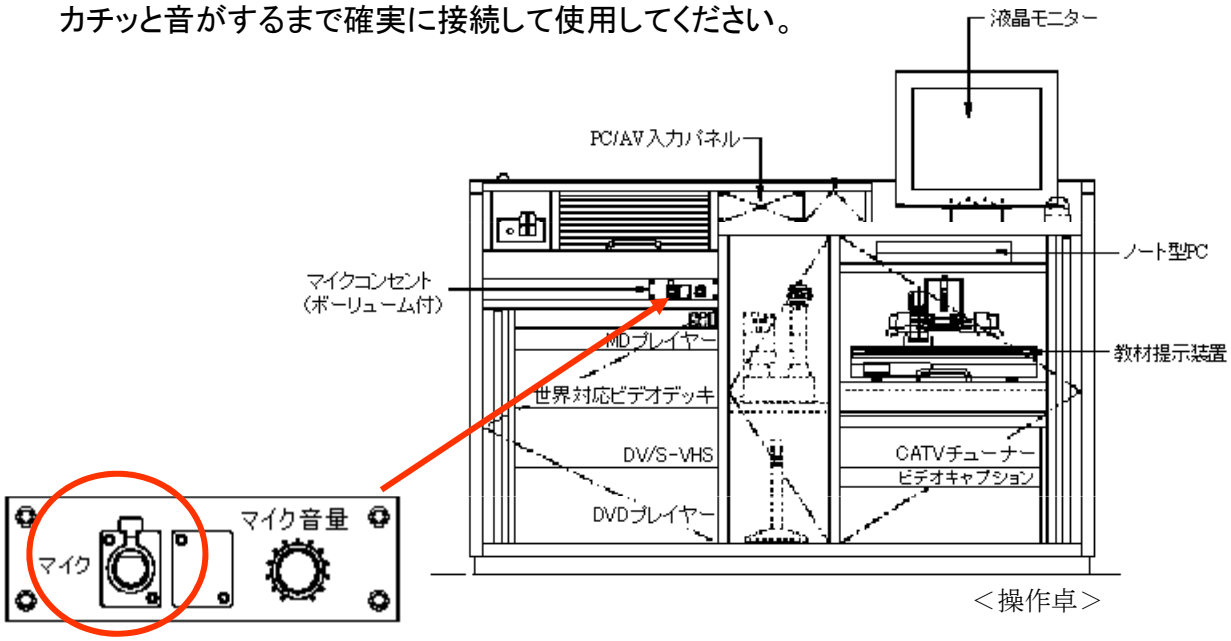
●“メニューに戻る” でシステムを終了せずにメインメニューへ戻ります。

※ 約2分程で、システムの再立上げが出来ます。

マイクロホンを使う

■有線マイクロホンを使う

操作卓にマイクコンセントがあります。
カチッと音がするまで確実に接続して使用してください。



＜操作卓＞

＜マイクコンセント＞

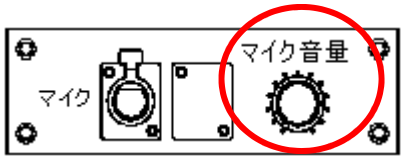
※システムを起動していない状態（卓が施錠されている状態）でも、
マイクコンセントにマイクを接続すると、有線マイクが使用できます。

■ワイヤレスマイクロホンを使う

ワイヤレスマイクロホンは、システムを起動した直後から使用できます。
マイクロホン本体のスイッチを入れて使用してください。

■マイクロホンの音量調節

マイクロホンの音量調節は、マイクコンセント右側のツマミで調節します。



＜マイクコンセント＞

※使用終了後は、電源をOffにし充電器に設置してください。

メインメニュー

パソコンを使用する
黒板を使用する
教材提示装置を使用する
DV／S-VHSを使用する
ＤＶＤを使用する
ケーブルテレビを使用する
持込機器を使用する
ＭＤを使用する
ＭＤで録音する
世界対応ＶＨＳを使用する
環境設定
講 義 終 了

メインメニュー

メインメニューでは、使用する機器のアイコンをタッチすることにより操作パネルに移り、各機器を操作するが可能となります。

パソコンを使用する

パソコンを使用する

機器収納架のＰＣ/ＡＶ外部入力パネルに持込パソコンを接続してプロジェクターにパソコン映像を提示したい時にタッチして下さい。

黒板を使用する

黒板を使用する

黒板が使用したい時にタッチして下さい。

環境設定を黒板が使用できる状態に設定します。

教材提示装置を使用する

教材提示装置を使用する

操作卓の教材提示装置をにプロジェクターに提示したい時

にタッチして下さい。

ＤＶ/Ｓ-ＶＨＳビデオを使用する

ＤＶ/Ｓ-ＶＨＳビデオを使用する

ＤＶ/Ｓ-ＶＨＳビデオをプロジェクターに提示したい時に

タッチして下さい。

メインメニュー

ＤＶＤを使用する

ＤＶＤを使用する
ＤＶＤをプロジェクターに提示したい時に
タッチして下さい。

ケーブルテレビを使用する

ケーブルテレビを使用する
ケーブルテレビをプロジェクターに提示した時
にタッチして下さい。

持込機器を使用する

持込機器を使用する
操作卓のＰＣ/ＡＶ外部入力パネルに持込機器を
接続してプロジェクターに提示したい時にタッチ
して下さい。

ＭＤ（再生）を使用する

ＭＤ（再生）を使用する
ＭＤを聞く時にタッチして下さい。
ＭＤ操作パネルに画面が変わります。
※ＭＤ録音中は選択できません

メインメニュー

ＭＤで録音する

ＭＤで録音する

ＭＤで録音する時にタッチして下さい。

ＭＤ（録音）操作パネルに画面が変わります。

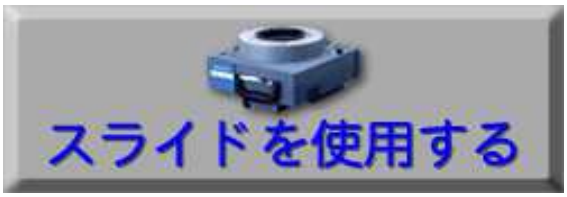
※ＭＤ再生中は選択できません

世界対応ＶＨＳビデオを使用する

世界対応ＶＨＳビデオを使用する

世界対応ＶＨＳビデオをプロジェクターに提示したい時に

タッチして下さい。



スライドを使用する

スライドを使用する

スライドビデオをプロジェクターに提示したい時に

タッチして下さい。

環境設定

環境設定

スクリーン、照明を個別に操作したい時に

タッチして下さい。

サブメニュー

サブメニューでは、使用する機器のアイコンをタッチすることによりメインメニューに戻らなくても、プラズマディスプレイへの映像提示や機器の操作パネルに移り、各機器を操作する事が可能となります。

パソコンを使用する

教材提示へを使用する

DV/S－VHSビデオを使用する

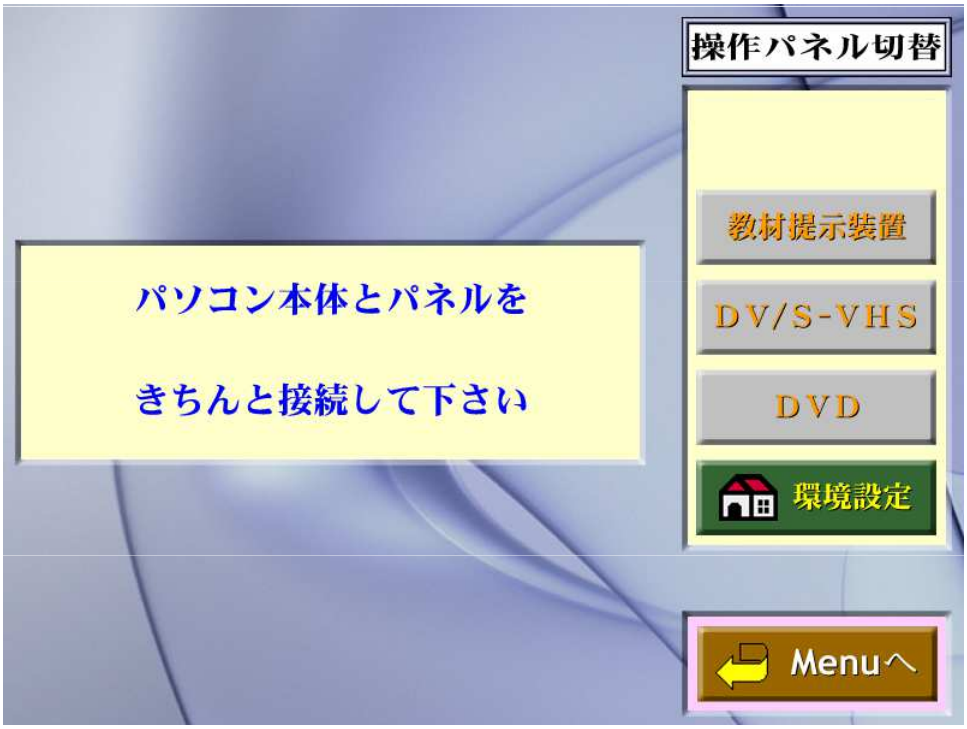
世界対応VHSビデオを使用する

DVDを使用する

環境設定

メインメニューへ戻る

パソコンを使用する



１：パソコンの起動

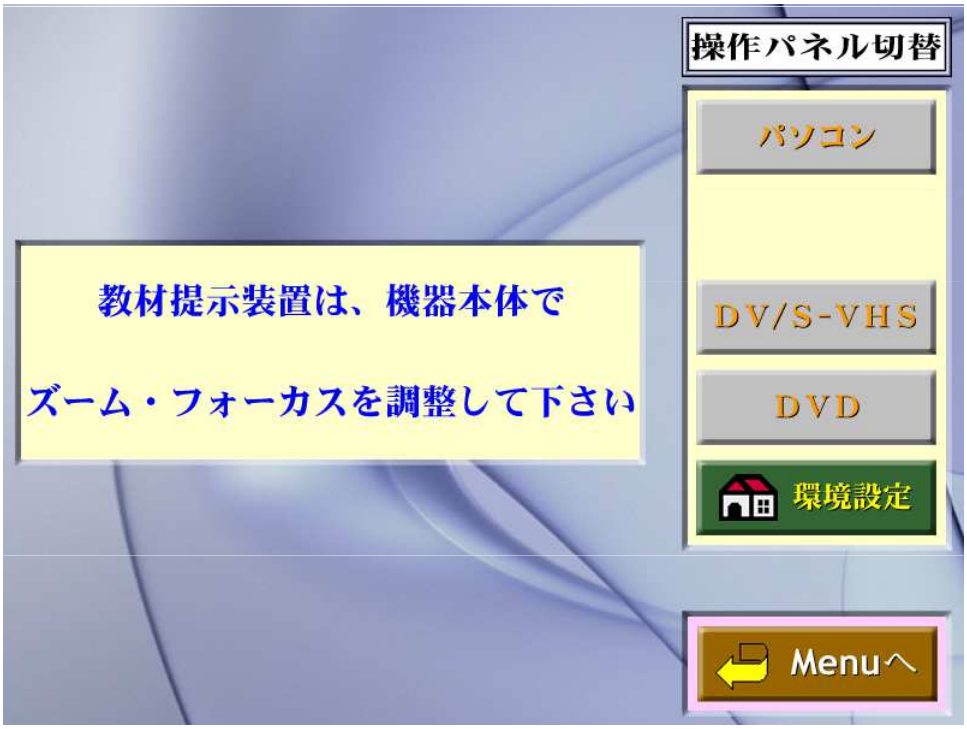
　備付けパソコンの電源ボタンを押しますと電源が入りウインドウズが起動します。

２：メインメニューから「パソコンを使用する」をタッチして下さい。（9ページを参照して下さい。）

３：終了させる時は「スタートメニュー」から「ウインドウの終了」を選び「電源を切れる状態にする」を選択してください。

注意　操作卓終了時は必ずパソコンの電源を落としてから終了して下さい。

教材提示装置を使用する



１ :カメラと照明を起こし書画カメラを準備し、提示される資料を台の上のセットして下さい。

２ :照明の点灯を「照明」ボタンで切り替えて下さい。

①上からの照明（プリント等印刷物の提示時）

②下からの照明（OHP・スライド等提示時）

３ :拡大・縮小

機器本体の「ズーム」ボタンで調整して下さい。

４ :ピントの調節

機器本体の「フォーカス」ボタンで自動でピントを合わせることができいます。

５ :メインメニューから「教材提示装置を使用する」をタッチして下さい。（9ページを参照して下さい。）

６ :終了させる。

カメラと照明を内側に倒して下さい。

注意 DV/S-VHS本体の電源スイッチは切らないようにして下さい。

DV/S-VHSビデオを使用する

１：メインメニューから「DV/S-VHSビデオを使用する」をタッチして下さい。（9ページを参照して下さい。）

２　:ビデオを操作する。

　ビデオテープをデッキにセットします。各操作は操作卓タッチパネルより操作できます。再生させる場合にはタッチパネル上の「　　生」をタッチします。

３　:ビデオテープを取り出す。

　DV/S-VHS本体の「取出し」ボタンを押します。

４　:終了させる。

　ビデオテープを取り出してから操作卓を終了して下さい。

注意　DV/S-VHS本体の電源スイッチは切らないようにして下さい。

DVD（通常操作） を使用する

１ :メインメニューから「DVDを使用する」をタッチして下さい。（9ページを参照して下さい。）

２ :DVDを操作する。

DVD-ROMをデッキにセットします。各操作は操作卓タッチパネルより操作できます。再生させる場合にはタッチパネル上の「 ▷生」をタッチします。

３ : DVD-ROMを取り出す。

DVD本体の「⏏」ボタンを押します。

４ :終了させる。

DVD-ROMを取り出してから操作卓を終了して下さい。

注意 DVD本体の電源スイッチは切らないようにして下さい。

DVD操作パネルの説明

１ ：DVDメニュー操作スイッチ

ソフトを入れてメニュー画面から先に進まなかった時やメニュー画面を操作して他のプログラムを操 作したいときなどに使用します。

通常操作の ”カーソル操作へ” をタッチすると、このDVD メニュー操作画面になります。

“MENU” でタイトル固有の再生データ（チャプターメニュー・音声メニュー等）を呼び出します。

各 メニュー選択後“上下左右”のカーソルで選択、“ ENTER ” をタッチすると、選択されたメ ニューが始まります。

“一般操作へ ” をタッチするとDVD の通常の操作画面に戻ります。

ソフトによりカーソル操作が使用できない場合があります。その場合は、機器本体または付属リモコンにより操作して下さい。

※この画面のその他のスイッチについてはDVDの通常操作と同じですので、14 ページを参照して下さい。

ケーブルテレビ(10キー選択)を使用する

１：操作スイッチ

ケーブルテレビのチャンネル操作を10 キーより 操作出来ます。

又、音声切替・局名選択へを操作できます。

＜チャンネル選択＞

見たいチャンネルの番号が一桁の場合、その番号のみ押して下さい。

１～2秒後にチャンネルが切り替わります。

二桁以上のチャンネルを選択する時、たとえば“１２”を見たい場合、“1”・“2”と選択して下さい。

２：サブメニュースイッチ

メインメニューに戻らなくても、プラズマディスプレイへの映像提示や　機器の操作パネルに移り、各機器を操作する事が可能となります。

ケーブルテレビ(局名選択)を使用する

１：操作スイッチ

NHK総合・NHK教育・日本テレビ・TBS・フジテレビ・テレビ朝日・テレビ東京・MXテレビ・衛星第一・衛星第二を 操作出来ます。

又、音声切替・10キー選択へを操作できます。

２：サブメニュースイッチ

メインメニューに戻らなくても、プラズマディスプレイへの映像提示や機器の操作パネルに移り、各機器を操作する事が可能となります。

持込機器を使用する

１：操作スイッチ

持込機器（パソコンもしくはVideo）を選択して下さい。

ラックの「PC／AV外部入力パネル」にお手持ちの機器を接続して下さい。

（20ページ参照して下さい。）

２：サブメニュースイッチ

メインメニューに戻らなくても、プラズマディスプレイへの映像提示や

機器の操作パネルに移り、各機器を操作する事が可能となります。

持込機器を使用する

■持込機器の接続

ラックの「PC／AV外部入力パネル」にお手持ちの機器を接続し使用する事ができます。

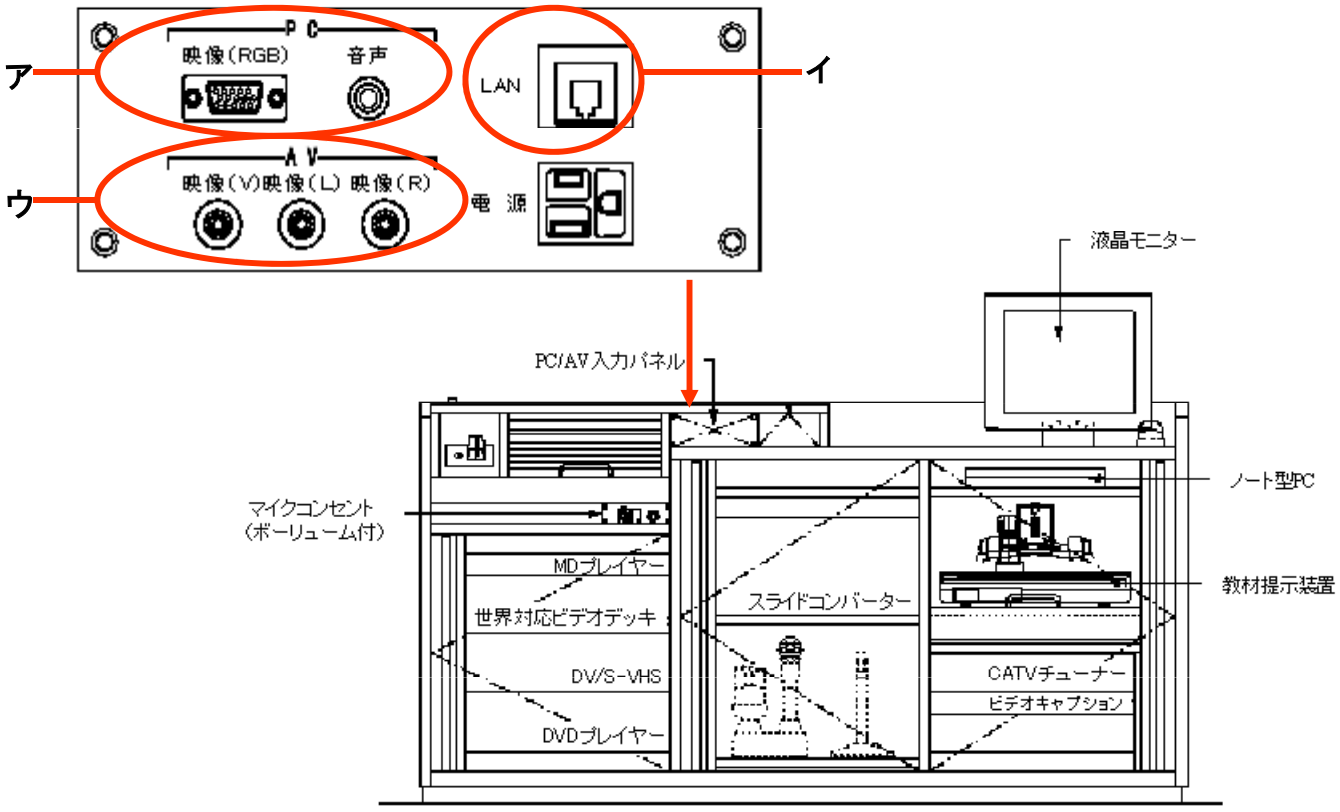
【接続できる機器と接続先】

◇ノートパソコンなど（RGB信号出力機器）－－－－－接続先：PC（ア）
・映像(RGB) →映　像（RGB映像信号）
・音声　　→音　声

※LANを利用する時は、
LANコンセントに接続してください。－－－－－接続先：LAN（イ）

注意：お手持ちのノートパソコンの外部出力設定を行って下さい。（11ページ参照）

◇ビデオ機器（ビデオ信号出力機器）－－－－－－接続先：AV（ウ）
・映像(V) →映　像（ビデオ映像信号）
・音声(L) →音　声（左）
・音声(R) →音　声（右）



持込ノートパソコンの設定

■持込ノートパソコンの設定

ノート型パソコンの場合、自機ディスプレイ以外に映像を出す場合、「外部出力設定」が必要になります。

タッチパネルで正しく操作しても、ノートパソコンの映像がスクリーンに出ない時はパソコン本体の「外部出力設定」がされていない場合があります。

※）ノートパソコンの外部出力信号を出力する場合、使用されるノートパソコンのメーカーや使用されるノートパソコンのOSにより出力設定の操作が異なります。

＜外部出力設定操作例＞

メーカー名	機種	キー
Akia	全機種	Fn + F2
CANON	INNOVA NOTE 4600	Fn + F12
COMPAQ	ARMADA シリーズ	Fn + F4
	PRESARIO シリーズ	Fn + F3
DELL	全機種	Fn + F8
FUJITSU	全機種	Fn + F10
GATEWAY	全機種	Fn + F3
HITACHI	全機種	Fn + F7
IBM	全機種	Fn + F7
NEC	全機種	Fn + F3
Panasonic	全機種	Fn + F3
SAMSUNG	全機種	Fn + F5
SHARP	全機種	Fn + F5
SONY	全機種	Fn + F7
SOTEC	全機種	Fn + F3
TOSHIBA	全機種	Fn + F5

注）SONY（VAIO）に付きましては、変換コネクターが必要になる場合があります。
Appleに付きましては、変換ケーブルが必要になる場合があります。

注）本表は参考であり実際の動作を保証するものではありません。
外部出力の操作が分からない場合は、お手持ちのノートパソコンの取扱説明書をお読みください。

MD（再生） を使用する

１ :メインメニューから「MD（再生）を使用する」をタッチして下さい。（9ページを参照して下さい。）

２ :MDを操作する。

MDをデッキにセットします。各操作は操作卓タッチパネルより操作できます。再生させる場合には　タッチパネル上の「▶再生」をタッチします。

３ :MDを取り出す。

「MDデッキ本体の「EJECT ⏏」ボタンを押します。

４ :終了させる。

MDを取り出してから操作卓を終了して下さい。

注意 MDデッキ本体の電源スイッチは切らないようにして下さい。

MD（録音） を使用する

１ :メインメニューから「MD（録音）を使用する」をタッチして下さい。（9ページを参照して下さい。）

２ :MDを操作する。

MDをデッキにセットします。各操作は操作卓タッチパネルより操作できます。

３ :録音する

「●録音」をタッチして下さい。

４ :停止させる

「■停止」をタッチして下さい。

３ :MDを取り出す。

「MDデッキ本体の「EJECT ▲ 」ボタンを押します。

４ :終了させる。

MDを取り出してから操作卓を終了して下さい。

スライドを使用する

１：プレビューモニター

スライドの映像が映ります。

２：操作スイッチ

映写・停止・戻し・送り ・ズーム・フォーカス・アイリス（明るさの調整）を操作出来ます。

３：メニュースイッチ

１０ページを参照して下さい。

※スライドが設置してない教室もあります。

世界対応VHSビデオを使用する

１：メインメニューから「世界対応VHSビデオを使用する」をタッチして下さい。（9ページを参照して下さい。）

２　：ビデオを操作する。

　ビデオテープをデッキにセットします。各操作は操作卓タッチパネルより操作できます。再生させる　場合にはタッチパネル上の「▶再生」をタッチします。

３　：ビデオテープを取り出す。

「世界対応VHS機器本体の「EJECT ⏏」ボタンを押します。

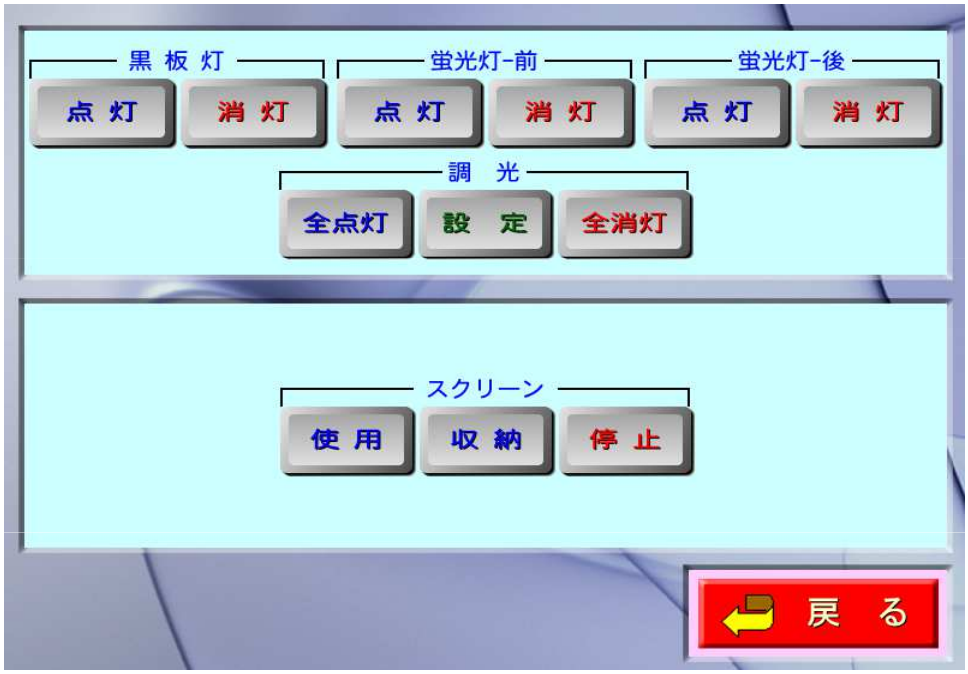
４　：終了させる。

　ビデオテープを取り出してから操作卓を終了して下さい。

注意　世界対応VHS機器本体の電源スイッチは切らないようにして下さい。

※世界対応VHSビデオが設置してない教室もあります

環 境 設 定



通常、環境装置は映像を表示するとき等に自動的に一斉動作をしますが、任意に環境装置を操作する時に、この「環境設定」操作パネルで操作して下さい。

１ :操作スイッチ

黒板灯 ・蛍光灯−前 ・蛍光灯−後 ・調光 ・スクリーン を操作出来ます。

２ :戻るスイッチ

前の画面へ戻ります。

※ カテゴリーによって若干、表示画面が異なります。

トラブル時の連絡先

操作卓について不明な点やトラブル等がありましたら

アカデミーコモン10F講師控室まで

お問い合わせ下さい。

アカデミーコモン講師控室　開室時間

月～土　8:30～22:30 （祝祭日を除く）

内線番号　4201